

**令和4年度**

**事務事業評価表**

市が目指す  
将来の姿

みんなで作る  
人つどい  
緑かがやく  
安心のまち  
袖ヶ浦

章

施策

第1章

子育て環境と学び・活動の場が  
充実した未来を育むまちづくり  
【子育て・教育・文化】

- 1.子育て支援
- 2.学校教育
- 3.生涯学習
- 4.スポーツ
- 5.文化芸術・文化財

第2章

支え合いと支援のもとで  
健やかに暮らせるまちづくり  
【健康・医療・福祉】

- 1.健康づくり・医療
- 2.地域福祉
- 3.高齢者福祉
- 4.障がい者福祉

第3章

安全・安心で環境にやさしい  
まちづくり  
【防災・防犯・環境】

- 1.防災
- 2.防犯・交通安全
- 3.消防・救急
- 4.消費生活
- 5.環境保全
- 6.廃棄物・リサイクル

第4章

都市と自然が調和した  
住みやすいまちづくり  
【都市形成・都市基盤】

- 1.市街地形成
- 2.公園・緑地
- 3.道路
- 4.河川
- 5.下水道
- 6.住宅
- 7.公共交通

第5章

地域の魅力を活かした  
にぎわいのあるまちづくり  
【産業】

- 1.農林業
- 2.商工業
- 3.観光
- 4.雇用・就業

第6章

みんながつながり参加する  
持続可能なまちづくり  
【市民活動・行財政】

- 1.市民活動
- 2.人権・男女共同参画
- 3.多文化共生
- 4.情報共有・発信
- 5.行政運営
- 6.財政運営

## 総括評価

### 1 概要

第1期実施計画は、令和2年度を初年度とし、目標年次を令和13年度とする袖ヶ浦市総合計画に掲げた各施策分野における有効な事業を、令和2年度から令和4年度までの3カ年の計画にまとめ、事業の具体的な取組内容を明らかにしています。

事務事業評価事後評価は、実施計画事業の進捗を把握するために、取組の効果や指標の達成度などの観点から客観的に評価し、事務事業の効率化等、今後の取組の方向性を示し、評価結果について次期実施計画及び基本計画へ反映を図るものです。

### 2 評価方法

第1期実施計画における掲載事業全166事業について、令和3年度の事業実績や投入コスト、評価指標など様々な観点から担当課において評価案を作成し、評価案について行政評価委員会、政策会議における意見を反映させて評価を確定しました。評価は、総合評価としてA～Eで評価し、また、併せて、今後の方向性についても検討しました（評価内容等は3頁参照）。

なお、令和2年度から新型コロナウイルス感染症（以下、コロナとする。）の影響により事業が進捗しなかったものの、今後も継続や一部の改善が必要な事業については、括弧づけのA及びB評価（(A) (B)と表記する。）として、コロナの影響を受けていることを明示しました。

### 3 評価結果

全体の評価結果は、A評価が145事業（87.3%）（内、(A)評価が44事業（全事業の26.5%、A評価の30.3%））、B評価が18事業（10.8%）（内、(B)評価が13事業（全事業の7.8%、B評価の72.2%））、事業の終了が2事業（1.2%）、事業実施なしが1事業（0.6%）となっています。

今後の方向性については、拡大・充実に2事業（1.2%）、継続が141事業（84.9%）、改善が18事業（10.8%）、縮小が1事業（0.6%）、統合が2事業（1.2%）、完了が2事業（1.2%）となっています。

8割以上の事業は概ね順調に進んでいますが、(A)及び(B)評価とした事業が57事業（34.3%）あり、一定程度の事業がコロナにより事業の進捗や指標の達成に影響を受けました。

大きな改善が必要な事業はほとんどありませんが、B評価とした事業が18事業あるため、コロナ禍においても事業を進捗させるために、課題の整理や、事業内容や手法について検討し、一層の効果的・効率的な行政運営に取り組んでまいります。

## 評価 全 166 事業

A	B	C	D	E	事業実施なし
145 【内(A)44】	18 【内(B)13】	0	0	2	1

### 評価の内容

- A : 現状どおり事業を進めることが妥当  
 (A) : 新型コロナウイルス感染症の影響により事業が進捗しなかったが、今後も現状どおり事業を進めることが妥当
- B : 事業内容や事業手法に改善を行う余地あり  
 (B) : 新型コロナウイルス感染症の影響により事業が進捗せず、事業内容や事業手法に改善を行う余地あり
- C : 事業内容や事業手法の一部見直しが必要
- D : 事業の廃止や休止など、事業のあり方について抜本的に検討する必要あり
- E : 事業の終了

## 今後の方向性 全 166 事業

拡大・充実	継続	改善	縮小	統合	廃止	休止	完了
2	141	18	1	2	0	0	2

### 今後の方向性の内容

- 拡大・充実：社会経済情勢などの需要増加等に伴い、内容を拡充する
- 継続：必要性、有効性、効率性から判断して、改善する余地のない最適な状態であり、今後も現状を維持する
- 改善：現在の手法等を見直し、改善する
- 縮小：環境変化や有効性の観点から期待した成果を得られていないため、縮小する又は廃止を検討する
- 統合：対象や目的など類似性の高い他の事業と統合させ、業務の効率化を図る
- 廃止：事業開始当初と社会経済情勢等が変化し、事務事業の必要性、有効性が薄れ、又は行政が実施する必要性がなくなったため廃止する
- 休止：環境変化や有効性の観点から休止する
- 完了：事業計画終了により完了する

なお、各章ごとの主な評価内容は次ページ以降となります。

## 第1章 子育て・教育・文化

第1章の子育て・教育・文化の分野では、子育て環境と学び・活動の場が充実した未来を育むためのまちづくりに取り組んでいます。

### 主な取組

- ▶ 子育て支援施策では、放課後児童クラブ整備事業において、平岡放課後児童クラブを小学校の余裕教室に移設して運営を開始し、適切な遊びや生活の場を確保することができました。また、奈良輪小学校の新設校舎内に放課後児童クラブを2箇所開設できるよう整備を行いました。
- ▶ 学校教育施策については、奈良輪小学校校舎増築事業において、建設工事が計画どおりに完了し、令和4年4月から供用を開始しました。
- ▶ 生涯学習施策では、市民三学講座において、オンライン形式での講座を実施し、コロナ禍においても自己啓発に取り組む市民の学習活動を効果的に促進するための環境を整備しました。
- ▶ スポーツ施策では、各事業ともコロナの影響によりイベント等が中止及び縮小したことから成果が上がりませんでした。各事業において、コロナ禍における事業の実施方法等を見直しのうえ、開催に向けて準備を行いました。
- ▶ 文化芸術・文化財施策では、山野貝塚保存活用事業において、史跡指定地の公有地化を進めることができました。また、計画値を上回るボランティアの登録があり、協働して草刈り等の維持管理を行うことで保存活用を推進しました。

### 改善等を必要とした主な取組

- ▶ B評価は5事業（内（B）評価3事業）となりました。子育て支援施策である私立保育施設等整備助成事業については、私立認可保育所等の整備推進による保育定員の拡充等により待機児童は減少したものの、保育ニーズの多い年齢では引き続き待機児童が生じており、また、配慮が必要な児童の受入れに課題があることから、さらなる保育定員の拡大に向けて整備を進めていくこととしました。

### 評価 全46事業

A	B	C	D	E	事業実施なし
40 【内(A)12】	5 【内(B)3】	0	0	1	0

### 今後の方向性 46事業

拡大・充実	継続	改善	縮小	統合	廃止	休止	完了
0	40	5	0	0	0	0	1

## 第2章 健康・医療・福祉

第2章の健康・医療・福祉の分野では、支え合いと支援のもとで健やかに暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

### 主な取組

- ▶ 健康づくり・医療施策では、がん検診事業において、コロナの影響は受けているものの、感染防止対策の徹底と市公式 LINE 等による新たな受診勧奨を行うことで、健康に対する意識の向上及び疾病の早期予防に向けて取り組みました。
- ▶ 地域福祉施策では、地域福祉活動支援事業において、市子ども食堂運営費補助金交付要綱を制定し、貧困家庭等を支援する団体への支援体制を整えました。
- ▶ 高齢者福祉施策では、介護保険サービス事業所整備事業において、計画した認知症対応型共同生活介護施設1施設及び地域密着型介護老人福祉施設1施設の整備運営する事業者の選定を行い、要介護認定者等が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護サービス基盤の整備に取り組みました。
- ▶ 障がい者福祉施策では、相談支援事業において、基幹相談支援センターの機能を強化するとともに、障がいの程度の重度化、高齢化及び同居家族の死亡等による介護者不在の状況に備え、市地域生活支援拠点事業実施要綱の制定を行いました。

### 改善等を必要とした取組

- ▶ B評価2事業は（内（B）評価は1事業）となりました。健康づくり・医療施策である、健康づくり支援センター管理事業においては、コロナの影響により教室の中止や利用制限等を行ったため、受講者が減少しました。また、使用料見直しの検討についても、コロナの影響により通常営業ができず、運営費の経年比較ができないため、検討することができませんでした。

### 評価 26 事業

A	B	C	D	E	事業実施なし
24 【内(A)10】	2 【内(B)1】	0	0	0	0

### 今後の方向性 26 事業

拡大・充実	継続	改善	縮小	統合	廃止	休止	完了
1	23	2	0	0	0	0	0

### 第3章 防災・防犯・環境

第3章の防災・防犯・環境の分野では、安全・安心で環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。

#### 主な取組

- ▶ 防災施策では、防災体制の強化において、災害時応援協定の締結を進め、相互応援体制の更なる強化を図るとともに、市地域防災計画を改訂しました。
- ▶ 防犯・交通安全施策では、防犯対策推進事業において、生活安全メールの送信による防犯情報の周知や街頭防犯カメラの設置により、安全、安心な地域社会の実現に取り組みました。
- ▶ 消防・救急施策では、消防団詰所建設事業において、第14分団詰所を建替えたことで、地域住民の安全・安心の確保や災害時の即応体制を図ることができました。
- ▶ 環境保全施策では、地球温暖化対策事業において、住宅用省エネルギー設備等の設置に係る補助金の交付件数が計画値を上回り、自然エネルギー利用を促進しました。
- ▶ 廃棄物・リサイクル施策では、ごみ減量化推進事業において、広報紙、SNS等を活用した情報発信に加えて、雑がみ回収ボックスの設置や子供服のリユース企画を実施するなど更なるごみの減量化、資源化に向けて取り組めました。家庭ごみ処理手数料の見直しについては、検討を進めていますが、コロナによる市民への影響などを考慮しながら慎重に進めることとしました。

#### 改善等を必要とした取組

- ▶ B評価は2事業（内（B）評価は1事業）となりました。防犯・交通安全施策である地域防犯体制強化事業については、活動を休止した団体があり、自主防犯組織数が減少しました。また、防犯パトロールを一旦休止していることから、今後の刑法犯認知件数について注視してまいります。

#### 評価 27 事業

A	B	C	D	E	事業実施なし
25 【内(A)8】	2 【内(B)1】	0	0	0	0

#### 今後の方向性 27 事業

拡大・充実	継続	改善	縮小	統合	廃止	休止	完了
0	25	2	0	0	0	0	0

## 第4章 都市形成・都市基盤

第4章の都市形成・都市基盤の分野では、都市と自然が調和した住みやすいまちづくりに取り組んでいます。

### 主な取組

- ▶ 市街地形成施策では、景観まちづくり推進事業において、市制施行30周年を記念し、「30年後も残したい袖ヶ浦の景観スポット」と題し、インスタグラムなどのSNSとも連携した新しい形の景観まちづくり賞を実施し、景観への意識啓発に貢献しました。
- ▶ 公園・緑地施策では、公園緑地管理事業において、老朽施設の補修及び更新や維持管理団体の協力のもと適正な維持管理を行いました。
- ▶ 道路施策では、高須箕和田線建設工事(南袖延伸)や三箇横田線建設事業において、道路整備を進めました。また、交通安全施設維持管理事業において、歩行帯の整備やガードパイプの設置等の安全対策を実施し、歩行者等の安全の確保を図りました。
- ▶ 河川施策では、奈良輪雨水ポンプ場維持管理事業において、奈良輪雨水ポンプ場の保守点検を実施し、適切な維持管理を図りました。
- ▶ 下水道施策では、下水道維持管理事業において、汚水処理施設の適切な維持管理とともに、公共用水域及び農業用水の水質保全、生活環境の改善を図りました。
- ▶ 住宅施策では、空家等対策事業において、制度の周知や適切に管理されていない空家所有者への指導、特定空家等の認定により、空家等の適切な管理の推進を図りました。
- ▶ 公共交通施策では、地域公共交通づくり事業において、路線バスのダイヤ改正等により利便性が向上しました。コロナの影響が続いているものの、路線バス、地域交通ともに利用者数は増加しました。

### 改善等を必要とした取組

- ▶ 特になし。

### 評価 26 事業

A	B	C	D	E	事業実施なし
25 【内(A)3】	0	0	0	0	1

### 今後の方向性 26 事業

拡大・充実	継続	改善	縮小	統合	廃止	休止	完了
0	24	0	0	2	0	0	0

## 第5章 産 業

第5章の産業の分野では、地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまちづくりに取り組んでいます。

### 主な取組

- 農林業施策では、新規就農者支援事業において、育成セミナーや農業大学校を受講する新規就農者の育成を支援しました。観光・直売型農業推進事業において、コロナの影響によりイベントの縮小を余儀なくされましたが、感染予防対策を講じながら地産地消を促進しました。
- 商工業施策では、企業等振興支援事業において、企業振興条例に基づく指定を行うとともに、奨励金を交付し、企業の設備投資の促進を図りました。
- 観光施策では、袖ヶ浦市観光協会活動支援事業において、コロナの影響により市との共同イベントの開催数は減少しましたが、観光協会へ補助金を交付し、活動を支援しました。
- 雇用・就業施策では、就労支援事業において、コロナの影響により就労セミナー等への参加者数は若干計画値を下回りましたが、就職希望者への支援を行いました。

### 改善等を必要とした取組

- B評価は4事業（内（B）評価は4事業）となりました。雇用・就業施策である雇用促進事業については、新卒者向け説明会の代わりに市内企業のPR動画を作成し、近隣高校へ配布するなど、市内企業への興味及び就職に繋がるように努めました。市内企業の人材確保を促進するためには、マッチングイベント等の開催が必要であるため、コロナ禍においての開催方法等について検討することとしました。

### 評価 22 事業

A	B	C	D	E	事業実施なし
17 【内(A)5】	4 【内(B)4】	0	0	1	0

### 今後の方向性 22 事業

拡大・充実	継続	改善	縮小	統合	廃止	休止	完了
0	17	4	0	0	0	0	1

## 第6章 市民活動・行財政

第6章の市民活動・行財政の分野では、みんながつながり参加する持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

### 主な取組

- 人権・男女共同参画施策では、男女共同参画推進事業において、コロナの影響を考慮し、オンラインセミナーを開催しました。また、情報誌を発行し男女共同参画に関する意識の高揚に努めました。
- 多文化共生施策では、多文化共生推進事業において、コロナの感染防止対策を講じた上で日本語教室を開催するとともに、多言語による生活支援情報をホームページに掲載しました。
- 情報共有・発信施策では、広報紙・ホームページ等による市政情報の発信において、広報そでがうらのリニューアルや、市公式LINEアカウントの新規開設を行い、積極的に市政情報の発信を行いました。
- 行政運営施策では、庁舎整備事業において、北庁舎の建設工事に着手し、躯体工事、設備工事及び内外装工事を行いました。
- 財政運営施策では、ふるさと納税推進事業において、新たな事業者によるPRに加え返礼品を追加したことにより、計画値を大きく上回る寄附を得ることができました。今後も返礼品の充実等により、事業を拡大して進めていきます。

### 改善等を必要とした取組

- B評価は5事業（内（B）評価は4事業）となりました。情報共有・発信施策である広聴活動の充実については、「市長と一緒にティータイム」の開催に向けて調整を図っていたものの、コロナの影響に伴い中止となりました。コロナ禍においても市民と直接意見交換ができるよう、開催方法等について検討することとしました。

### 評価 19 事業

A	B	C	D	E	事業実施なし
14 【内(A)6】	5 【内(B)4】	0	0	0	0

### 今後の方向性 19 事業

拡大・充実	継続	改善	縮小	統合	廃止	休止	完了
1	12	5	1	0	0	0	0